

最低制限価格の設定等について

最低制限価格は下記の算出方法により設定する。

【土木工事等】

最低制限価格＝最低制限基本価格〔税抜き〕※1×ランダム係数

※1 最低制限基本価格〔税抜き〕＝「直接工事費×0.97＋共通仮設費×0.9＋現場管理費×0.9＋一般管理費等×0.68」

【建築工事】

最低制限価格＝最低制限基本価格〔税抜き〕※1×ランダム係数

※1 最低制限基本価格〔税抜き〕＝「(直接工事費×0.9)×0.97＋共通仮設費×0.9＋(直接工事費×0.1＋現場管理費)×0.9＋一般管理費等×0.68」

ただし、この算式により算出した最低制限基本価格（税抜き）が予定価格（税抜き）の9.2/10を超える場合は、予定価格の9.2/10を最低制限基本価格とし、予定価格の7.5/10に満たない場合は、予定価格の7.5/10を最低制限基本価格とする。

なお、最低制限価格及び最低制限基本価格は千円単位とし、千円未満を切り捨てるものとする。

【委託業務】

委託業務については最低制限価格を設定していない。

ランダム係数の算出について

最低制限価格において用いられるランダム（無作為）係数の算出方法について、次のとおり定めるものとする。

1. ランダム係数とは

入札参加者が作成する任意の3桁番号と入札書入力日時の秒（ミリ秒単位の下3桁を使用）をもとに自動的に算出される無作為の数字とする。

2. ランダム係数の値

「1.0000～1.0060」の範囲で0.0005刻みの13通りの数値とする。

ランダム（無作為）係数の値

ランダム係数	1.0000	1.0005	1.0010	1.0015	1.0020	1.0025	1.0030
	1.0035	1.0040	1.0045	1.0050	1.0055	1.0060	

3. ランダム係数の算出方法

ランダム係数については、次の方法により算出する。

- ① すべての入札参加者の3桁番号と入札書入力日時のミリ秒単位（下3桁）の総和を算出する。
無効業者の3桁番号については、000とする。
- ② ①により算出した総和を13で除し、余りを求める。
- ③ 求めた余りを基にランダム係数対応表により、ランダム係数を決定する。

ランダム係数対応表

余り	0	1	2	3	4	5	6
ランダム係数	1.0000	1.0005	1.0010	1.0015	1.0020	1.0025	1.0030
余り	7	8	9	10	11	12	
ランダム係数	1.0035	1.0040	1.0045	1.0050	1.0055	1.0060	